

九州支部「気象教室」報告

日本気象学会九州支部では、気象知識の普及を目指して8月30日(土)に「気象教室」を九州大学国際研究交流プラザで開催しました。

今回はテーマを「大雨」に絞り、大雨について様々な角度からアプローチする目的で、金崎 厚氏(福岡管区気象台)「九州の大雨」、守田 治氏(九州大学大学院理学研究院)「大雨のおこる仕組み」、早川誠而氏(山口大学農学部)「大雨による災害」、原田恒夫氏(日本気象協会九州支社)「気象災害時の情報の利活用」の4つの講演を行いました。

毎年参加者が増えていることから今回は広い会場を確保し、北は山口県から南は鹿児島県まで73名の方々が参加されました。特に、今年は九州各地で大雨によ

る災害が発生したこともあり、関心が高かったようです。また、当日はNHK福岡放送局の取材があり、気象教室の様子は夕方のニュースで放映されました。

今回の参加者の年代層は、前回に比べ20代・40代の参加者の増加と、60代以上の参加者の減少がはっきりしていました。また、職種別では技術系の会社員・公務員・大学(院)生の参加者の増加が目立ちました。講義内容については大部分の人が「満足した」、同様の催しが来年もあるなら「来年も参加したい」と概ね良い反応が得られました。

最後に、講演いただいた講師の方々に厚く御礼申し上げます。



第35回(平成16年度)三菱財団自然科学研究助成の募集

- 助成の趣旨:** 科学・技術の基礎となる独創的かつ先駆的研究とともに、既成の分野にとらわれず、すぐれた着想で新しい領域を開拓する萌芽的研究に期待して助成を行う。自然科学のすべての分野に関わる、すぐれて独創的な研究を助成の対象とする。さらに複数の分野にまたがる新しい現象を模索する実験・理論や、環境問題の基礎的研究も対象とする。
- 応募資格:** 原則として、1つのテーマとして独立した個人研究(但し少数グループによる研究も含む)を対象とする。当該代表研究者が日本国内に居住し、国内に継続的な研究拠点を有する場合(国籍等は不問)に限る。営利企業等関係者は対象外とする。
- 助成金額:** 総額約3億円を予定。1件当たり2千万円以内とし、採択予定件数は40件程度を目標とする。研究の性質上比較的少額で足りる内容のものも考慮される。
- 助成期間:** 1年を原則とする。なお研究の性質上1年を超えるものについても、弾力的に対処する。
- 応募方法:** <http://www.mitsubishi-zaidan.or.jp/>から“申込書用紙”をダウンロードしてご使用下さい(財団から関係大学、研究所等宛に送付済の用紙あるいはそのコピーを使用しても可)。上記の方法に依り得ない場合は、「宛先記入済の返信用角2(A4サイズ)封筒に、160円切手貼付」の上、財団事務局に請求して下さい。
- 応募期間:** 2004年1月7日(水)～2月4日(水)必着
- 申込書提出先:** 財団法人三菱財団事務局
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号(三菱ビル15階)
Tel: 03-3214-5754, Fax: 03-3215-7168
その他詳細は上記ホームページまたは気象学会事務局まで。